

3面からのつづき

東京プロック

皇居参観と靖国神社参拝

東京プロックでは十月八日快晴に恵まれ皇居参観と靖国神社参拝を行いました。

靖国神社のおひざ元九段下の昭和館に集合、来賓として本部相澤副会長をお迎えして皇居西エリア参観と靖国神社を参拝しました。

皇居西エリアは一般には解放されておらず今回特別の許可をいただき参観できたものです。

このエリアには宮内庁と宮中参賀でおなじみの宮殿(長和殿)、二重橋等



が有ります。

ご案内は宮内庁の職員が丁寧に行って下さり、一時間二十分の参観に皆感激。長和殿は皇居の宮殿で一番長い建物で長さ160m有ります。

この宮殿で一般参観が行われ前庭は一度に二万人が参拝できる広さが有ります。

皇居参観と靖国神社参拝の後、赤坂見附のホテルニューオータニでお料理とワイン飲み放題の懇親会を行いました。

大阪府吹田市支部

交通安全祈念 千羽鶴を贈呈

平成二十九年九月二十五日(月)午後二時より、JR貨物関西支社の吹田貨物ターミナル駅で、社員や貨物輸送に関わる皆様方の交通安全と、ひいては吹田市民の皆様方の交通安全を祈念して、千羽鶴の贈呈を行いました。



吹田貨物ターミナル駅のある場所は、かつて東洋一の規模を誇り「鉄道の町」と言わしめた吹田操車場跡地に位置します。最新鋭の貨物列車が行き交い、南吹田に設けられたトラックゲートからは、細やかな速度や交通規制が設定されて、安全には十分配慮されています。吹田貨物ターミナル駅は平成二十五年にできた新しい駅ですが、鉄道の町吹田には欠かせない駅のひとつです。

岩手県支部

平成二十九年定期総会・春季善行表彰伝達式開催

岩手県支部の第二十九回「定期総会」は六月二十一日、釜石市大町の釜石ベイシティホテルで開催、本年度も善行の普及や善行実践活動に努めることを確認し合い、毎年春・秋に行う善行表彰の春季善行表彰伝達式も行い青少年の健全育成や地域社会貢献に寄与した団体及び個人に表彰状を伝達をしました。

岩手県支部は、一九八七年に創立、今年三十周年を迎え会員各位がそれぞれの地域で積極的に活

動をしており、毎年釜石で総会を開催、震災で催出来ない年もあったが会員の協力で継続して来ました。

総会は、委任状を含め三十五人(会員数四十一人)が出席「岩間支部長はこれからも会員皆さんと「心をつ」にして活動に努め、地域と手を携え善行の灯火の輪を広げて、安全で安心な住みよい社会環境づくりと「人の絆」を大切にしたい実践活動に力を尽くそうと挨拶」をしたその後、議長に東谷副支部長を選任し、二〇一六年度事業報告・決算を承認して、二〇一七年度事業計画及び予算を審議決定しました。本年度の春季善行表彰伝達式では、社会福祉



貢献のボーイスカウト「釜石第二団」、特別表彰(銀章)は芳賀博典氏が受賞しました。

終了後、祝賀会に移り、東宮参内ご接見に参加した長寿善行者よりご接見の報告もあり、和やかにお祝いの宴が催されて、多くの方々とお話など楽しく語り合い、盛会の裡に終了しました。

群馬県・北毛支部

チャリティイェーゴルフコンペの開催355名参加のもと開催 収益金を児童養護施設・社会福祉協議会等へ寄付

当支部では、発足以来継続実施し恒例となった第十七回目の「群馬県北毛支部チャリティイェーゴルフコンペ」を、去る七月十七日(月)、榛名山麓の「伊香保国際カンツリークラブ」で開催いたしました。このコンペは、会員相互の融和・親睦と、県民への善行会活動の啓蒙、日頃の活動への理解、会員との交流を図ることを目的に、広く参加者を募り開催しているものです。当日は、趣旨に賛同された355名という昨年来

上回る数の多くの方に参加いただき、榛名山の心地よい風がほほをかすめるといふ良好なコンディションに恵まれ、和気あいあいのうちに、全参加者がホールアウトいたしました。

終了後の成績発表並びに表彰式においては、支部長から善行会活動の趣旨及び北毛支部の活動内容等についてPR、参加者に善行会活動を改めて理解していただきました。併せて当日、会場に花五百鉢を持ち込み、当支部で行っている「花いっぱい運動」にも協力いただきようお願いしました。また、毎年、支部女性会員によって作り上げられたダルマの飾り五百体を「交通安全・幸せダルマ」



として参加者に配し、大好評を博しました。参加者から寄せられたチャリティイェー金については、児童養護施設、地区社会福祉協議会や地方紙「上毛新聞」の「愛の募金」ほか善行会本部へも寄贈されました。この結果、財団法人上毛新聞厚生事業団から、感謝状を受賞したほか、同新聞にも掲載され称賛されました。

ふる里白慢

高知県支部

土佐人の性格

今人気の「四国八十八カ所巡礼の旅」を体験しましたか。

土佐の高知は巡礼のお寺が少なく、弘法大師さんと二人で、雄大な自然に触れ、日本一美味しい食事を楽しみながら修行路「お接待の人情に触れる旅」が堪能できるのが「四国巡礼・高知の旅」のようです。是非高知を歩いて巡礼のたびをしてみてください。

今回は「知って得する土佐人の性格」をお知らせします。

これを知っていると「土佐路の旅」が楽しくなりますよ。

高知のことを「土佐」と言いますが、語源は「都左」です。「都(京)から左遷される土地」を意味し、また、「壇の浦」に破れた平家の落人たちが「隠れた地域」との伝説があり、昔は不便で住みにくい地域だったようです。現在でも土佐は「県土の78%が山地」で、平野は河川の河口付近にわずかに存在する程度です。つまり、荒涼しい自然と戦って「海山川の幸」をいただいで生きてきたのが土佐人です。荒々しい自然の地理的条件下で生き抜いた「流人・落人」が育った文化・歴史が土佐人の性格をつくりあげたことには間違いのないようです。



第34番礼所 本尾山 種間寺

は「できるだけ自然のままを美味しく食べる調理」の技が磨かれたようです。今はその技が「食の美味しさ日本一」となりました。

きびしい環境で生きてきた男は「いごつそう」となり、女は「はちきん」となったようです。「いごつそう」は、妥協せずに自分の主張をどこまでも通す「負けず嫌いの男」を言います。「はちきん」は、他の独楽を次々と倒す八金のケンカ独楽にちなんでいて「男勝りの猪突猛進型の女性」を言います。だから土佐人は意思の強い長所はありますが、他



第31番礼所 五台山 金色院 竹林寺

人と妥協をしないので「自立性」にとみますが孤立する弱さを持っています。攻撃には強いが防御に弱い。「負けて勝つ」ではなく「勝って負ける」タイプ。つまり、議論して勝つ、実益で負けても納得する性格です。「助け合って生きるための知恵」にはたけていますが、他人には言葉がきつ、眼力があつて、とつきにくい性格を持っています。ところが、根は優しいので気軽に声をかけると「御利益」は間違いなしですよ!

議論することになっても、土佐人には絶対に勝たないでください。

善行川柳

選者 東 逸平

○行く道は 励まし寄り添い 助け合い 北海道 齊藤 勉

○手をはひろげ 走ってくる子を 待ちぼうけ 東京都 鎌倉 潮

○焦らない みんなと共に 一歩ずつ 静岡県 真野 和代

○これだけは 自分で自分を 誉めてやる 香川県 丸野 忠義

○これだけは 誉めてやりたい! 香川県 丸野 忠義